



2024年

加温ハウス サクランボ防除暦

JA中野市営農センター

散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100ℓ当り)		収穫前 使用時期	使用回数 (以内)	散布量 (ℓ/10a)	対象病害虫 (発生病害虫)	注意事項
月 日	【特別散布】 発芽前	(水98ℓ) スプレーオイル	2ℓ	発芽前	—	300	カイガラムシ類	①【カイガラムシ類幼虫対策】 アブロードフロアブルの 1,000 倍 (7日前、2回)を加用する。
月 日	【特別散布】 開花前	樹幹散布 フェニックスフロアブル	200mℓ	開花期まで	1回	5~200	コスカシバ	①樹幹部及び主枝に十分散布する。
月 日	開花直前	①展着剤(ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル サムコルフロアブル 10	10mℓ 50mℓ 40mℓ	前日 前日	3回 3回	350	灰星病(花腐れ) ハマキムシ類 コスカシバ ケムシ類 オウトウショウジョウバエ	
特別散布 : 開花期間中に、灰星病(花腐れ等)の発生が心配される場合は、ベルコートフロアブルの 2,000 倍(7日前、3回)を散布する。 *ベルコートフロアブルは 5℃以下では固化する場合がありますので、注意する。								
月 日	落花直後 訪花昆虫 引き上げ後	② アーデントフロアブル ナリア WDG	25mℓ 50 g	前日 前日	3回 3回	400	灰星病 炭そ病 黒斑病 幼果菌核病 褐色せん孔病 オウトウショウジョウバエ	① この散布はミツバチへの影響が大きいため、ミツバチ引き上げ後に散布する。 ② ナリア WDG はぶどう(ピオーネ)洋なし(ル・レクチェ)等に薬害が生じるので飛散しないようにする。
特別散布:【灰星病対策】ベルコートフロアブルの 2,000 倍(7日前、3回) 【ショウジョウバエ類対策】バイスロイド EW の 4,000 倍(7日前、2回)を散布する								
月 日	肥大期 【果実黄化前】	③ オンリーワンフロアブル コテツフロアブル	50mℓ 50mℓ	前日 7日前	3回 2回	500	灰星病 炭そ病 黒斑病 褐色せん孔病 ナミハダニ オウトウショウジョウバエ ウメシロカイガラムシ	
月 日	収穫終了後	④展着剤(ハイテンパワー) エコマイト顆粒水和剤 オキシラン水和剤 ダイアジノン水和剤34	10mℓ 50g 166g 100g	7日前 収穫後~落葉期 14日前	1回 3回 2回	500	せん孔病 ナミハダニ類 ウメシロカイガラムシ アメリカヒロヒトリ ハマキムシ類	①エコマイト顆粒水和剤は、りんご・おうとう以外に登録がないため、他品目に飛散しないよう注意する。
月 日	6月中旬	⑤展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル サイアノックス水和剤	10mℓ 200mℓ 100g	21日前 14日前	5回 2回	500	褐色せん孔病 ケムシ類	
月 日	7月上中旬 (前回から14日後)	⑥展着剤(ハイテンパワー) ダニオーテフロアブル トレノックスフロアブル	10mℓ 50mℓ 200mℓ	前日 21日前	1回 5回	500	ハダニ類 褐色せん孔病	①【ダニオーテ散布時の注意事項】 ・銅剤(オキシラン等)と混用しない。 ・銅剤を散布している場合は、銅剤散布後 45 日間隔を空けてダニオーテを使用する。
月 日	7月下旬 (前回から14日後)	⑦展着剤(ハイテンパワー) トレノックスフロアブル ダイアジノン水和剤34	10mℓ 200mℓ 100g	21日前 14日前	5回 2回	500	褐色せん孔病 ウメシロカイガラムシ アメリカヒロヒトリ ハマキムシ類	
月 日	8月上中旬 (前回から14日後)	⑧展着剤(ハイテンパワー) オキシラン水和剤	10mℓ 166g	収穫後~落葉期	3回	500	せん孔病	①【ハダニ類対策】 コロマイト乳剤の 1,000 倍(7日前、1回)を加用する。 ②【せん孔病対策】 9 月上中旬にオキシラン水和剤 600 倍 (収穫後~落葉期、3回)を特別散布する。

当防除暦の複製・コピーを禁止します

◆ 混用例 : 展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル (DF) ⇒顆粒水和剤 (WDG) ⇒水和剤